

3 子育てと教育について（問 12～問 18）

(1) 問 12『あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 13 のとおりである。

調査年の間で統計的に有意な差はない。

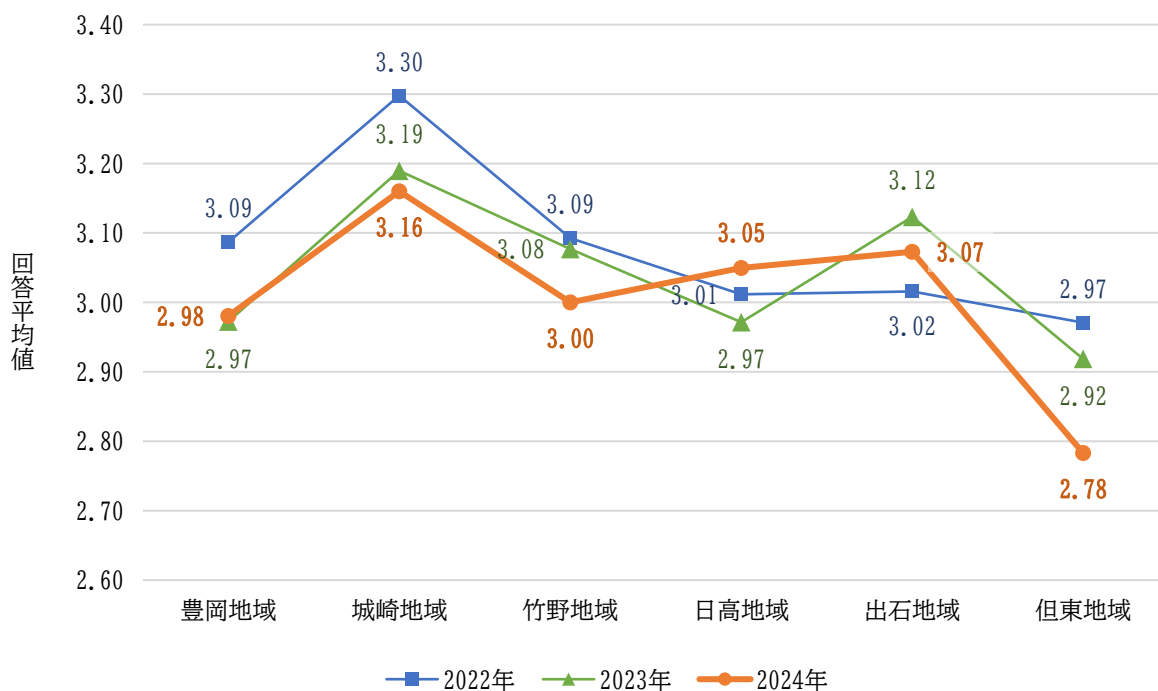
<表 13：調査年ごとの回答平均値>

2022 年調査	3.06
2023 年調査	2.99
2024 年調査	3.00

地域別の結果は、図 8 のとおりである。

これまでの調査を通じて、城崎地域の回答平均値が比較的高い傾向にある。2024 年調査においては、城崎地域と但東地域との間に統計的に有意な差があり、この 2 地域間では城崎地域のほうが安心して子育てができていると感じている人が多いと言える。

図 8：豊岡市で安心して子育てができと思うか



男女別の回答平均値の推移は、表 14 のとおりである。

2024 年調査において、男女間における回答平均値の差に統計的な有意差はない。

<表 14：調査年ごとの男女別の回答平均値>

	男性	女性
2022 年調査	2.97	3.13
2023 年調査	2.86	3.12
2024 年調査	2.96	3.03

(2) 問 13『子育てに関する悩みや不安を相談できる窓口として、あなたが知っているものはどれですか』

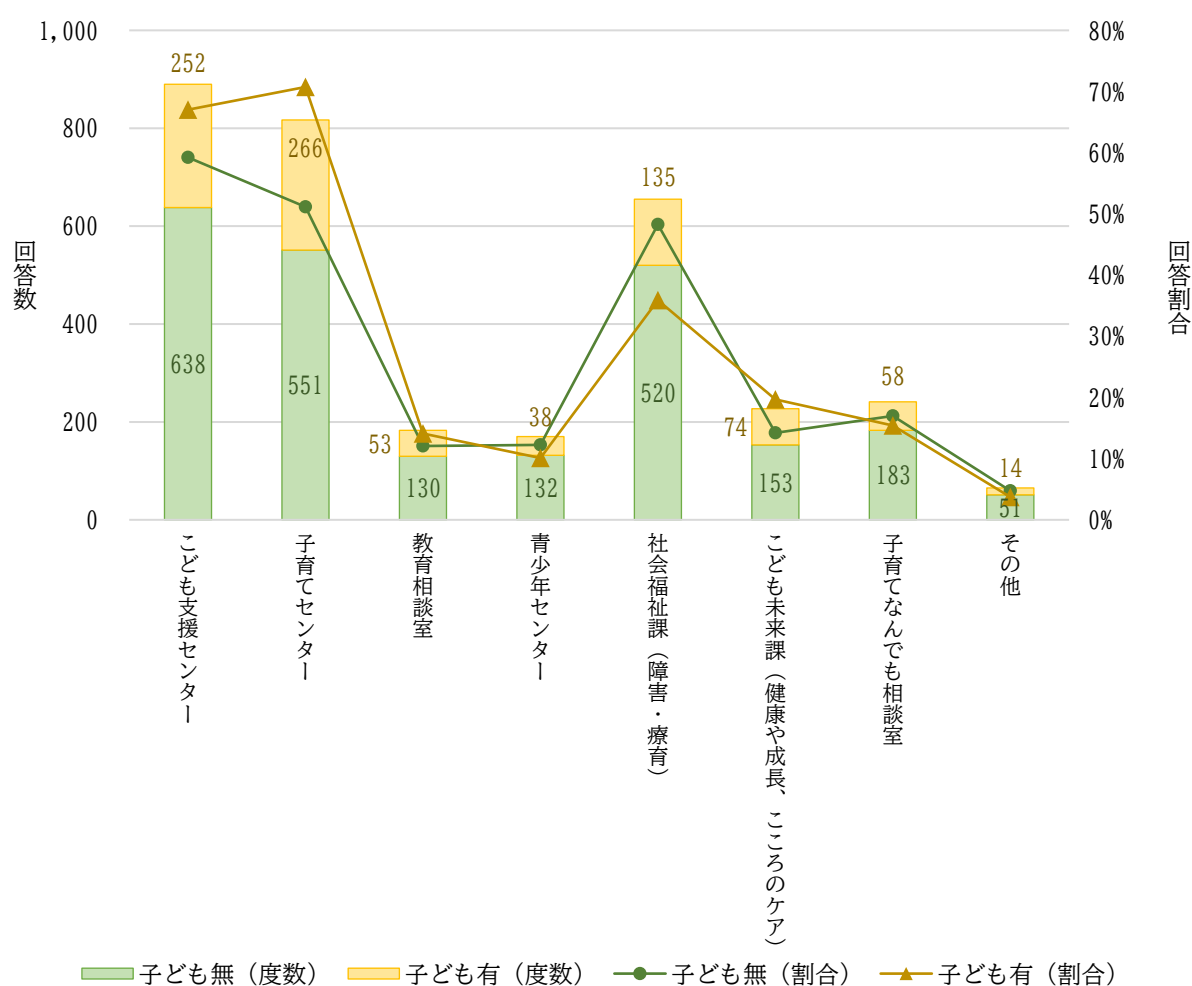
2024 年調査における、子どもの有無別の「知っている」の回答数と回答数に占める割合は、図 9 のとおりである。

選択肢の「こども未来課（健康や成長、こころのケア）」については、今年度より所管する部署が健康増進課からこども未来課に変わっているため、前回調査まで「健康増進課」であったところを今回調査から「こども未来課」に置き換えている。

前回調査の「健康増進課」では、知っていると回答した人数が子ども有と子ども無を合わせて 727 人だったが、今回調査の「こども未来課」では合計で 227 人と大きく減少している。

なお、子ども有の回答者と子ども無の回答者との間で、項目によって知っている割合に統計的に有意な差が見られた。「こども支援センター」と「子育てセンター」、「こども未来課（健康や成長、こころのケア）」については子ども有の回答者のほうが、「社会福祉課（障害・療育）」については子ども無の回答者のほうが有意に高い。

図 9：子育てに関する相談窓口で知っているもの



(3) 問 14『豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 15 のとおりである。

調査年の間で統計的に有意な差はない。

<表 15：調査年ごとの回答平均値>

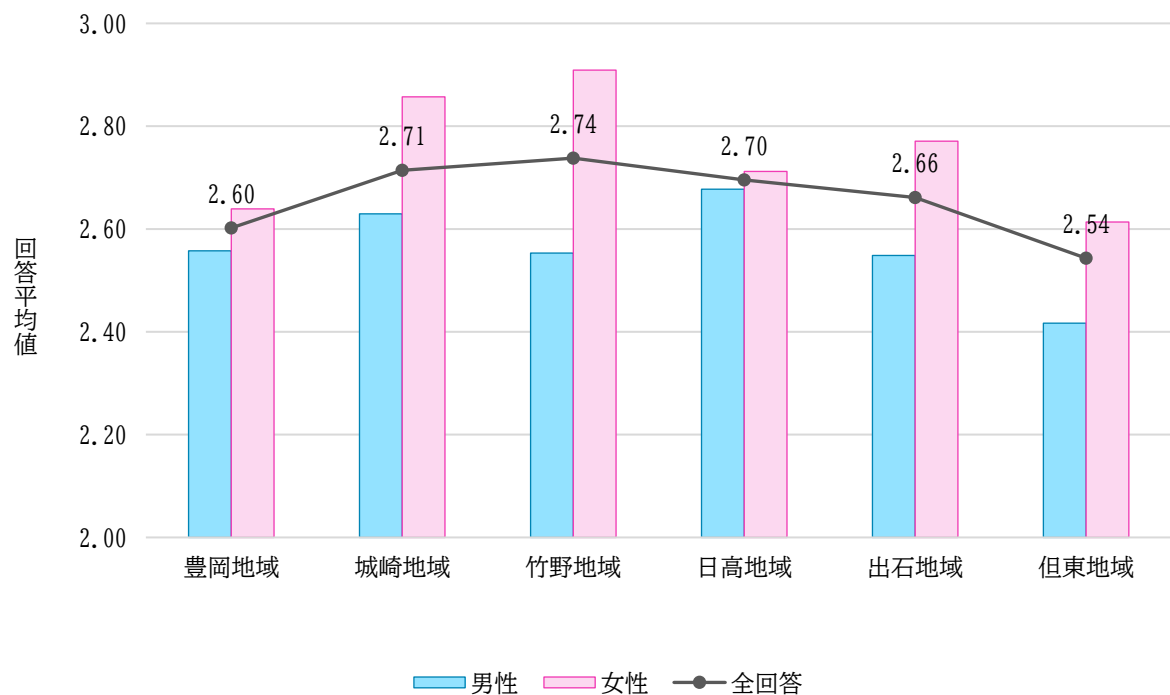
2022 年調査	2.65
2023 年調査	2.61
2024 年調査	2.63

地域別の結果は、図 10 のとおりである。

2024 年調査においては、地域間の全体の回答平均値に統計的に有意な差はない。

また、各地域における男女別の回答平均値を見ると、いずれの地域でも男性より女性のほうが高くなっているが、こちらも統計的に有意な差は認められなかった。

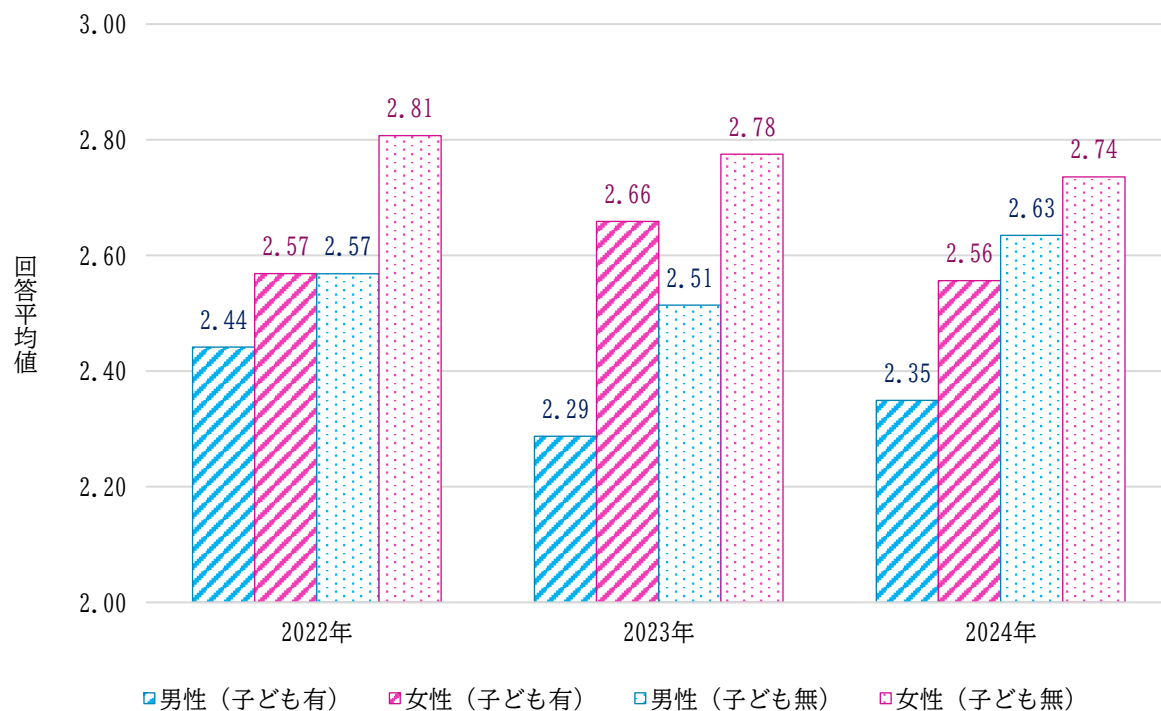
図10：子育てと仕事の両立がしやすいと思うか（地域別）



属性別の回答平均値の推移は、図 11 のとおりである。

これまでの調査と同様、2024 年調査においても子ども有の回答者と子ども無の回答者の双方で、男女間で統計的に有意な差がある。子どもの有無別で見ると、男性よりも女性のほうが子育てと仕事の両立がしやすいと思っていると言える。

図11：子育てと仕事の両立がしやすいと思うか（子どもの有無・男女別）

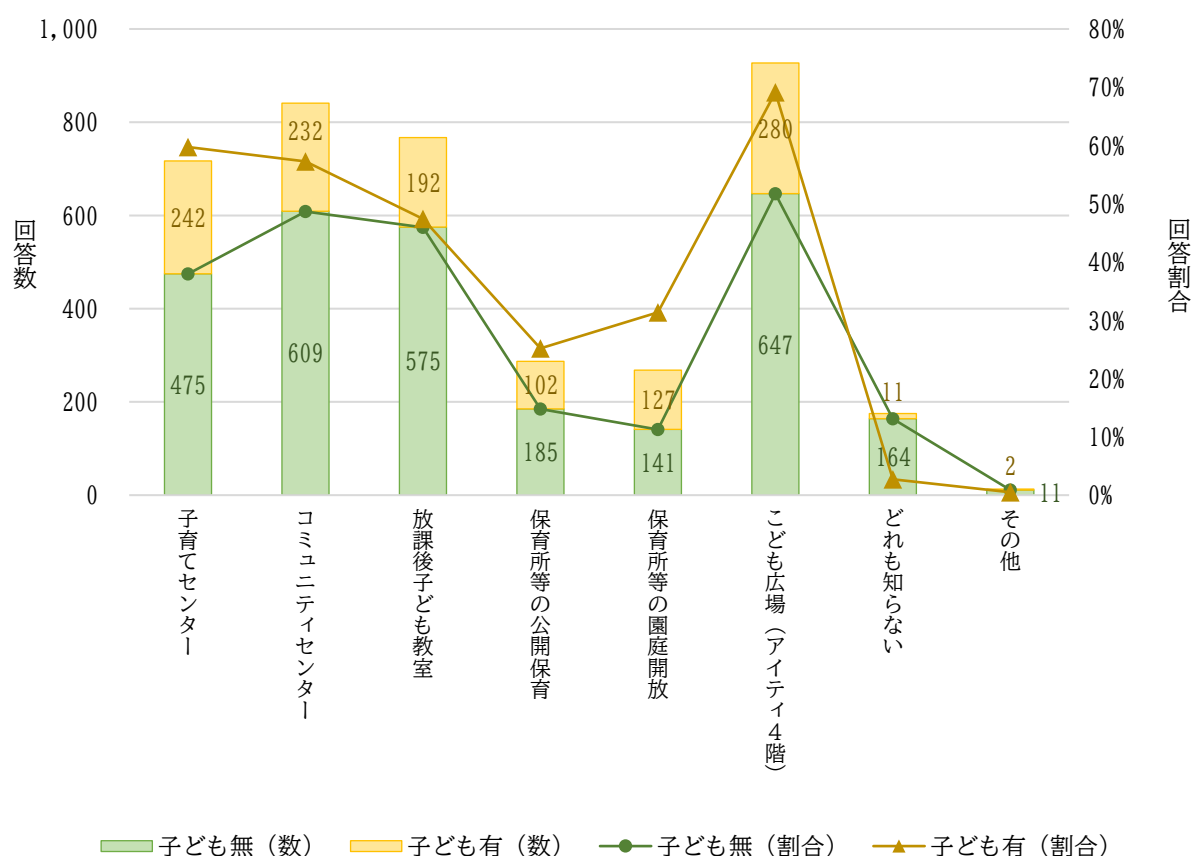


(4) 問 15『子どもたちが集まって交流できる場所のうち、あなたが知っているものはどれですか』

2024 年調査における、子どもの有無別の「知っている」の回答数と回答数に占める割合は、図 12 のとおりである。

前回調査とほぼ同様の結果であり、「こども広場（アイティ 4 階）」が子ども有の回答者と子ども無の回答者の双方で回答数が最も多く、知っていると答えた割合も最も高い結果となった。

図12：子どもたちが交流できる場所で知っているもの



(5) 問 16『あなたのまわりの子どもたち（小学生・中学生）は、まわりの大人たちとのあいさつや会話ができますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 16 のとおりである。

調査年の間で統計的に有意な差はない。

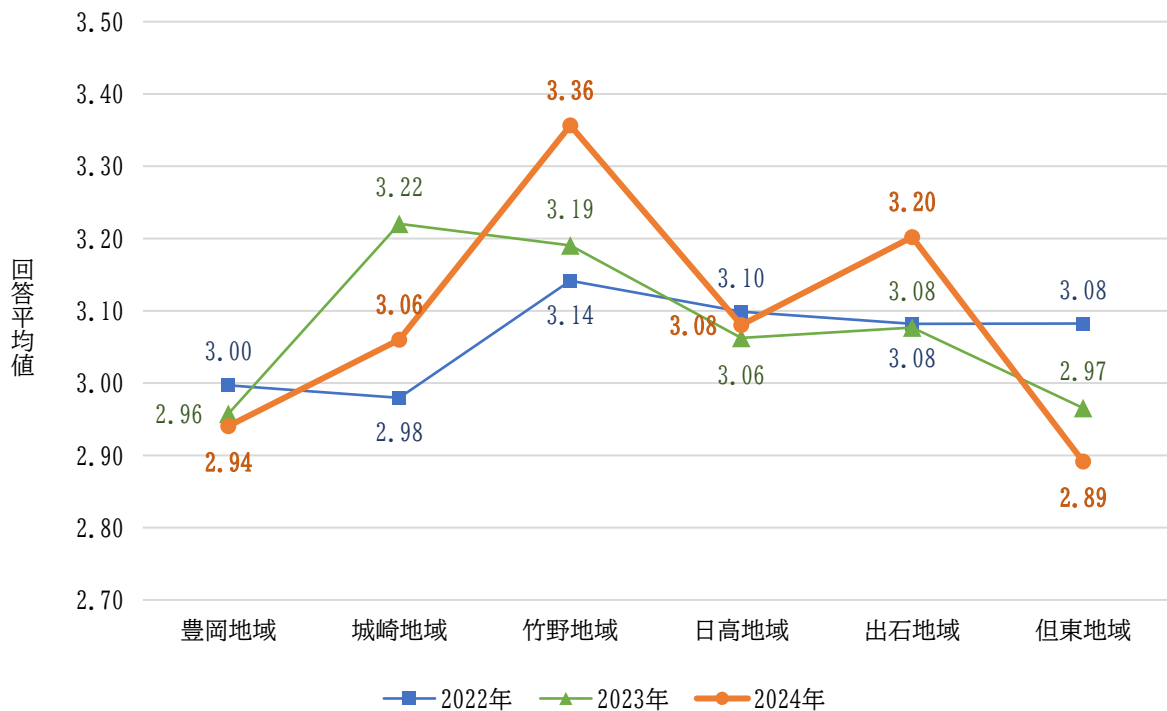
<表 16：調査年ごとの回答平均値>

2022 年調査	3.04
2023 年調査	3.02
2024 年調査	3.03

地域別の結果は、図 13 のとおりである。

2024 年調査においては、竹野地域では豊岡地域・日高地域・但東地域との間に、出石地域では豊岡地域・但東地域との間に、日高地域では豊岡地域との間に統計的に有意な差がある。これらの地域間では、子どもたちが大人とあいさつや会話ができているかについて、感じ方に差があると言える。

図13：子どもたちは大人とあいさつや会話ができるか



(6) 問 17『あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち（小学生・中学生）はどのくらい参加していますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 17 のとおりである。

調査年の間で統計的に有意な差はない。

<表 17：調査年ごとの回答平均値>

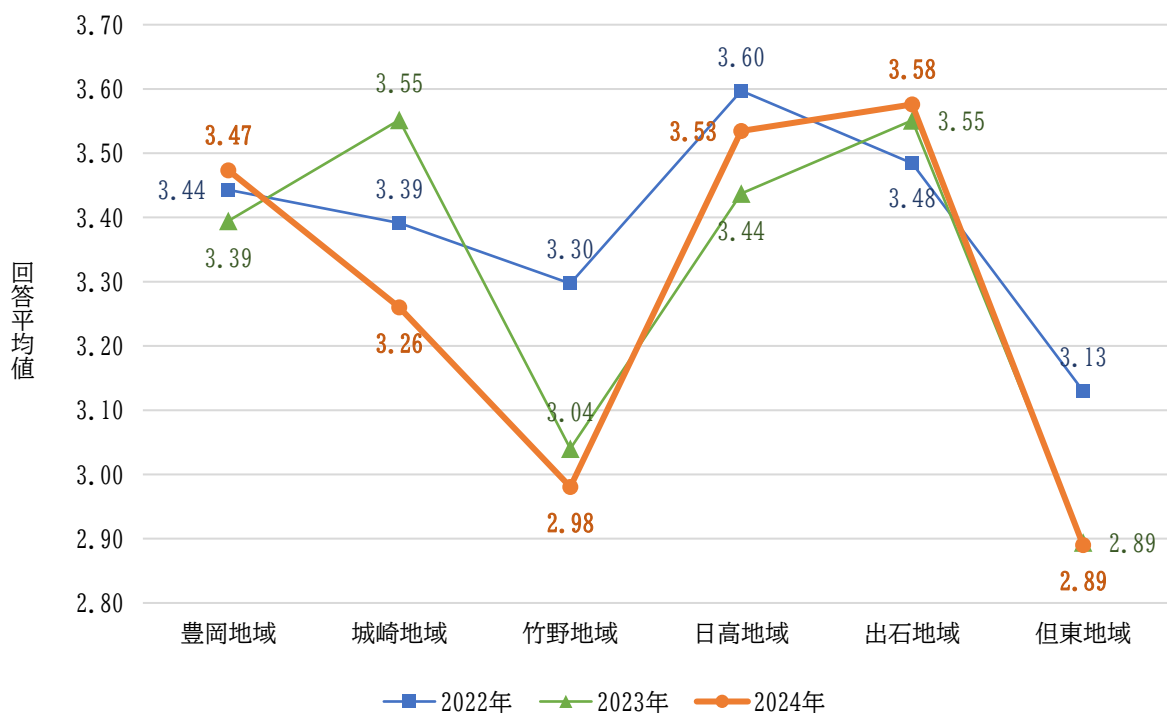
2022 年調査	3.45
2023 年調査	3.38
2024 年調査	3.43

地域別の結果は、図 14 のとおりである。

2024 年調査においては、城崎地域で前回調査と比べて比較的大きく回答平均値が低下しているが、統計的に有意な差ではなかった。

地域間の比較では、竹野地域及び但東地域は、城崎地域以外の他の地域と比べて有意に回答平均値が低く、竹野地域や但東地域では子どもたちの伝統行事への参加が少ないと感じているようである。

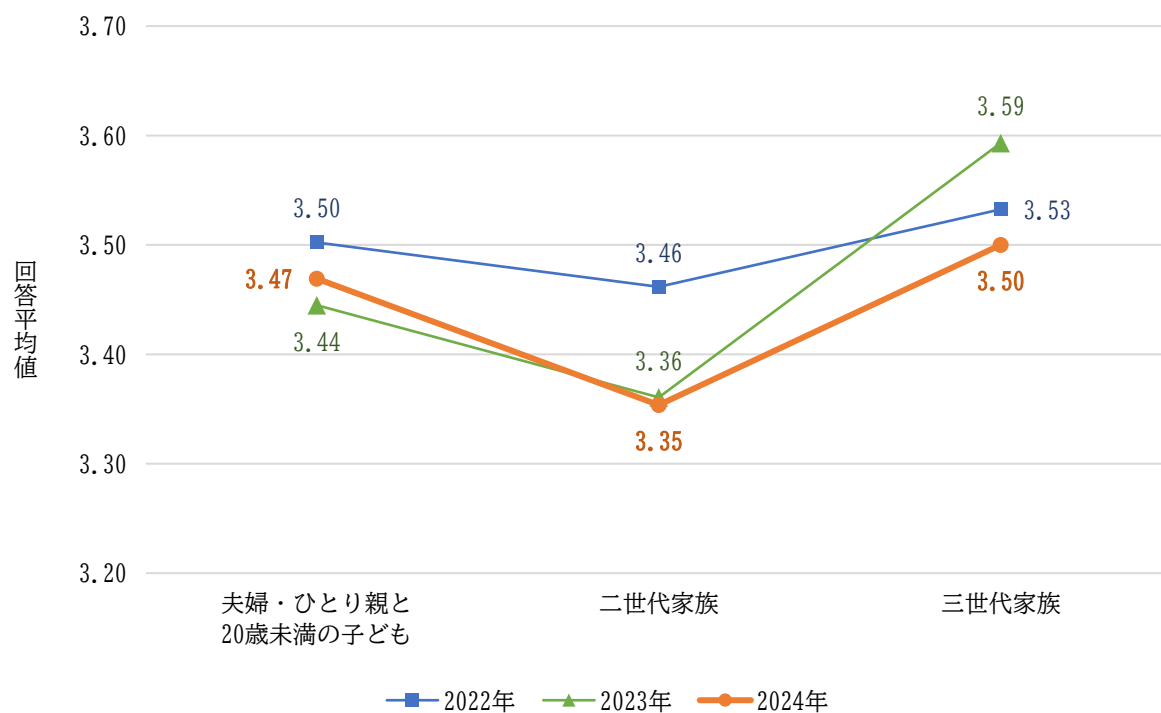
図14：子どもたちは伝統行事に参加しているか（地域別）



2024 年調査における家族構成別の結果は、図 15 のとおりである。

前回 2023 年調査においては、親と子と孫の「三世代家族」のほうが、親と 20 歳以上の子の「二世代家族」よりも有意に回答平均値が高かったが、今回調査では家族構成による回答平均値の差に統計的な有意差は認められない。

図15：子どもたちは伝統行事に参加しているか（家族構成別）



(7) 問 18『あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 18 のとおりである。

全体の回答平均値にも子ども有の回答平均値にも、調査年の間で統計的に有意な差はない。

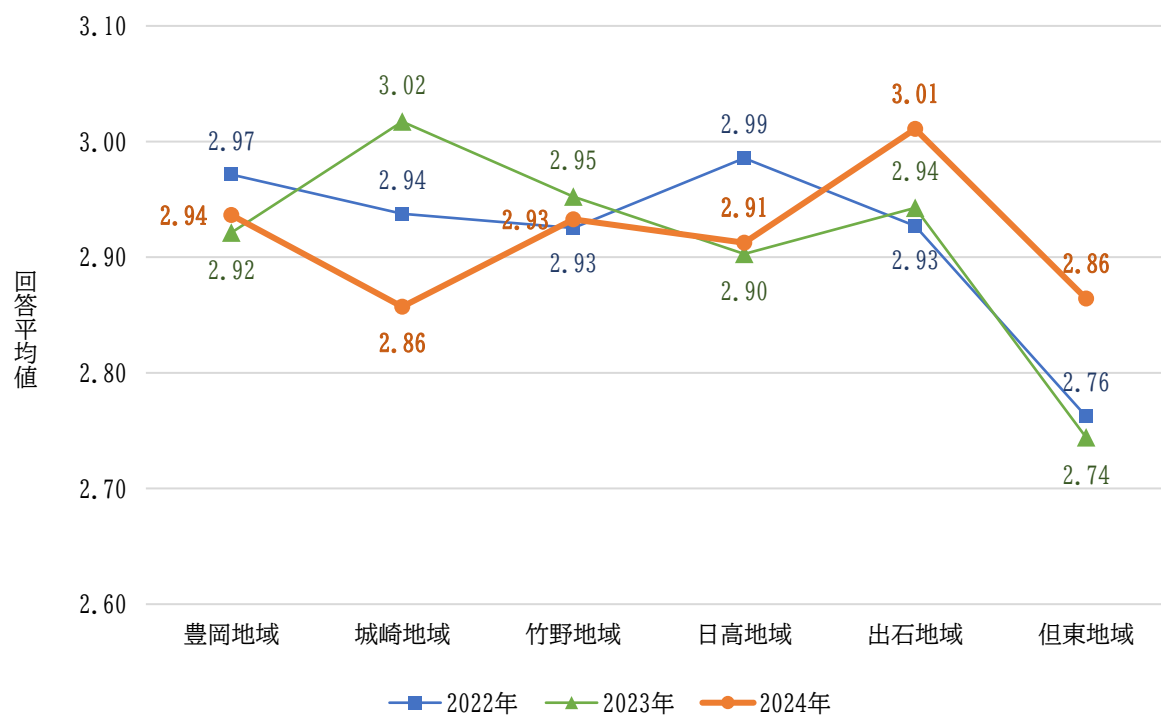
<表 18：調査年ごとの回答平均値>

	全体	子ども有
2022 年調査	2.95	3.07
2023 年調査	2.91	2.98
2024 年調査	2.93	2.96

地域別の結果は、図 16 のとおりである。

2024 年調査においては、それぞれの地域間において統計的に有意な差はない。また、それぞれの地域における前回調査との差についても、有意差は認められない。

図16：子どもたちは豊岡に愛着を感じていると思うか



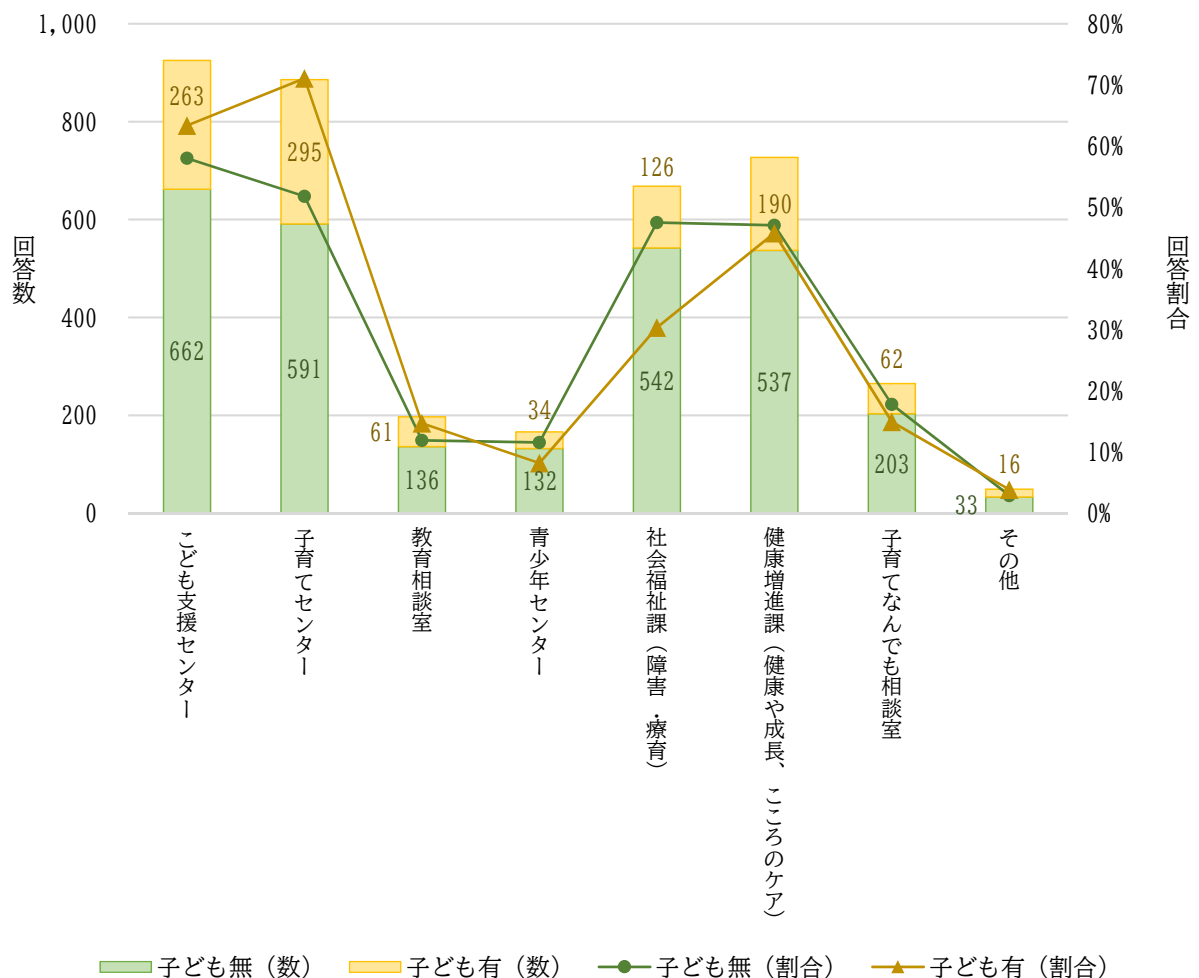
(2) 問 13『子育てに関する悩みや不安を相談できる窓口として、あなたが知っているものはどれですか』

2023 年調査における、回答数と回答数に占める割合は、図 9 のとおりである。

「子育てなんでも相談室」は今年度開設されたため、今回の調査から追加している。

子ども有の回答者と子ども無の回答者との間で、「子育てセンター」と「社会福祉課（障害・療育）」を知っている割合に統計的に有意な差がある。「子育てセンター」については子ども有の回答者のほうが、「社会福祉課（障害・療育）」については子ども無の回答者のほうが有意に高い。

図 9：子育てに関する相談窓口で知っているもの



(3) 問 14『豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 14 のとおりである。

2022 年調査と 2021 年調査の間には統計的に有意な差があり、否定的な回答が増加している。2023 年調査と 2022 年調査の間には統計的に有意な差はない。

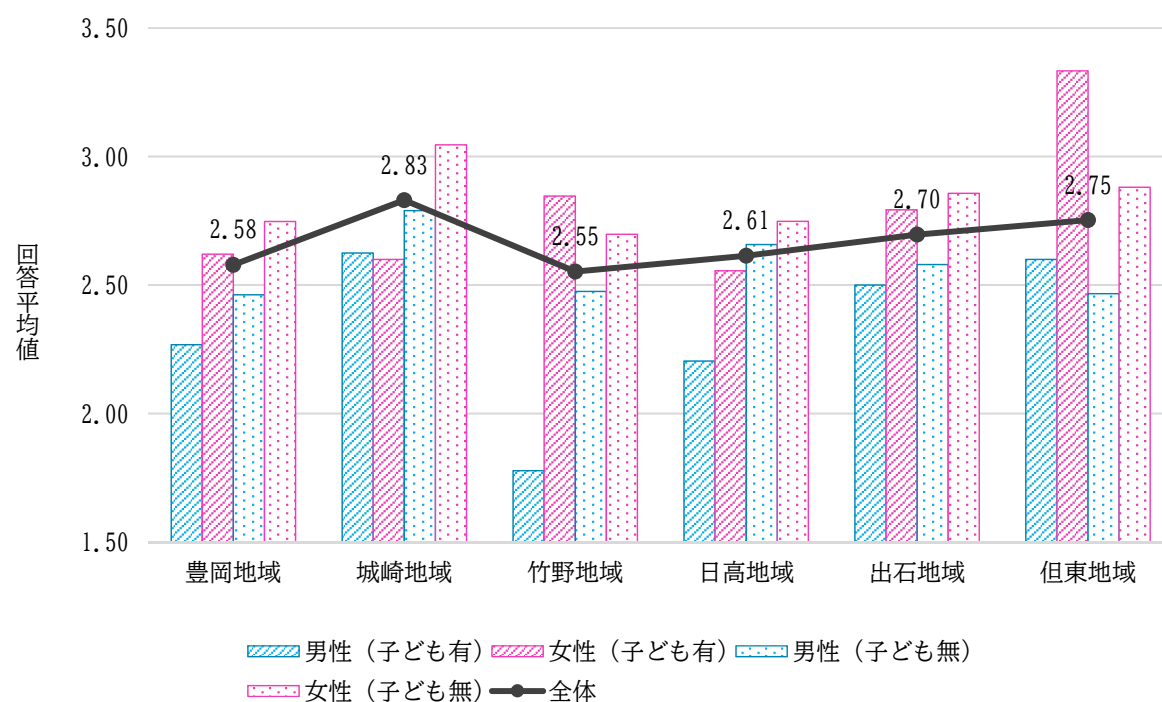
<表 14：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.79
2022 年調査	2.65
2023 年調査	2.61

地域別の結果は、図 10 のとおりである。

2023 年調査においては、地域間の全体の回答平均値には統計的に有意な差はない。

図10：子育てと仕事の両立がしやすいと思うか（地域別）



(4) 問15『子どもたちが集まって交流できる場所のうち、あなたが知っているものはどれですか』

2023年調査における、回答数と回答数に占める割合は、図12のとおりである。

「こども広場（アイティ4階）」は、今年度開設されたため今回の調査から追加した項目であるが、子ども有の回答者と子ども無の回答者の双方で回答数が最も多い結果となった。知っている割合も、子ども無の中では唯一50%を超えている。

図12：子どもたちが交流できる場所で知っているもの

